

義務教育諸学校

観点	(主な要素)	ステージ0	ステージ1
		着任時	初任期 (1年～6年)
基本的 資質能力	使命感、責任感、教育的愛情、コンプライアンス意識、社会性、人間性、コミュニケーション力、自己省察、自己研鑽	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育的愛情と使命感・情熱を持っている。</li> <li>○教職生涯にわたって健康を維持できる心身のたくましさがある。</li> <li>○社会人として必要なモラルや常識を身に付けている。</li> <li>○円滑なコミュニケーションができ、良好な人間関係を築くことができる。</li> <li>○求められる京都府の教員像を理解し、それに向かって自己を省察し、常に学び続けようとしている。</li> <li>○基本的な事務処理能力がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、行動できる。</li> <li>○コンプライアンス意識を有し、社会人として良識ある言動ができる。</li> <li>○他の教職員、児童生徒、保護者等と円滑なコミュニケーションができる。</li> <li>○自己を省察しながら研修に励み、他から積極的に学ぶ姿勢を有している。</li> <li>○事務処理を正確に行うことができる。</li> </ul>
人権	人権尊重、人権教育の推進、特別な配慮を必要とする児童生徒への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人権尊重の精神と人権教育の担い手であるという自覚を持っている。</li> <li>○人権教育に関する基礎的な知識を有している。</li> <li>○困難な状況におかれた児童生徒には、背景にある様々な状況を踏まえた対応が必要であることを認識している。</li> <li>○一人一人の児童生徒を大切に、配慮できる姿勢と、ユニバーサルデザインや合理的配慮の提供についての基礎的な知識を有している。</li> <li>○特別な配慮を必要とする児童生徒への支援に関する基礎的な知識・技能を有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人権尊重の精神に基づいて行動できる。</li> <li>○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項を理解し、それに基づいた取組ができる。</li> <li>○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた対応に取り組むことができる。</li> <li>○特別な配慮を必要とする児童生徒を含むユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を意識した指導や授業に取り組むことができる。</li> </ul>
学習指導	学習指導要領等の趣旨の実現、教育課程の実践、指導方法、指導技術、学習評価、ICT活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習指導要領等や指導案作成に関する基礎的な知識を有し、指導案を作成できる。</li> <li>○各教科等の指導内容や指導方法についての基礎的な知識や指導技術を有している。</li> <li>○学習評価に関する基礎的な知識を有している。</li> <li>○ICT活用の基礎的な知識や技能を有し、授業改善のための方法・技術を学ぼうとする姿勢がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習指導要領等に基づいた指導案を作成し、それに沿った授業ができる。</li> <li>○各教科等の教材研究に取り組み、指導技術を高めることができる。</li> <li>○主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、ICT活用も含め、授業改善に取り組むことができる。</li> <li>○学習過程や成果に対して評価や評定を行うことができる。</li> </ul>
生徒指導	学級経営、児童生徒理解、生徒指導、教育相談、進路指導、キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童生徒理解や受容的・共感的な関わりの必要性を認識し、基礎的な知識を有している。</li> <li>○生徒指導や教育相談の基礎的な知識や技能を有している。</li> <li>○学級担任の職務や役割についての基礎的な知識を有している。</li> <li>○キャリア教育に関する意義を理解し、基礎的な知識を有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○担当する児童生徒の個性や人間関係を踏まえた個別指導と集団指導に取り組むことができる。</li> <li>○児童生徒理解をもとに、受容的・共感的に児童生徒と関わることができる。</li> <li>○児童生徒の変化に気づき、課題の解決に向けて他の教職員と協力して対応できる。</li> <li>○同年度の教員と協力しながら、担任として責任を持って学級経営ができる。</li> <li>○キャリア教育の視点を生かした教育活動ができる。</li> </ul>
マネジメント	学校運営への関わり、効率的な業務の遂行、カリキュラム・マネジメント、学校安全、危機管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校務分掌や学校運営の仕組みなどの基礎的な知識を有している。</li> <li>○組織の一員としての自覚を有し、校務に積極的に参画し、他と協働して自らの役割を果たそうとする姿勢がある。</li> <li>○学校安全や危機管理の重要性を理解し、基礎的な知識を有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○担当する校務分掌における自己の役割を理解し、責任を持ってその役割を果たすことで学校運営に参画できる。</li> <li>○効率的な業務の遂行に向け、セルフマネジメントができる。</li> <li>○学校安全や危機管理の観点から、適切に報告、連絡、相談を行うなど、学校の危機管理マニュアルに沿った行動ができる。</li> </ul>
チーム学校	他の教職員との連携・協働、家庭や地域社会との連携・協働、関係機関や多様な人材との連携・協働、人材育成への関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○他の教職員、家庭や地域社会、関係機関や多様な人材と連携・協働することの必要性を理解している。</li> <li>○資質能力の向上の重要性を理解し、管理職や先輩教職員の指導・助言を受け、自己の資質能力を向上させようとする姿勢がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校務分掌組織の一員として、他の教職員と連携・協働して業務を遂行できる。</li> <li>○保護者や地域社会と積極的に交流し、実態の把握に努めることができる。</li> <li>○専門家や関係機関と連携しながら業務を遂行できる。</li> <li>○管理職や先輩教職員から積極的に学ぶ姿勢を持ち、その指導・助言を受けて、同僚と切磋琢磨しながら自己の資質能力の向上に取り組むことができる。</li> </ul>
京都ならではの教育	京都府教育振興プランの実現、京都の伝統・文化の理解と発信、グローバル化への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>○京都府教育振興プランを理解している。</li> <li>○社会情勢や世の中の出来事について知識を有し、多様な体験や交流の経験がある。</li> <li>○京都の自然、歴史、伝統・文化に対する基礎的な知識を有し、児童生徒に継承していくことの必要性を理解している。</li> <li>○グローバル化に伴う社会変化を認識し、自らのコミュニケーション能力等を高める努力をするとともに、児童生徒に身に付けさせる必要性を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、教育活動に還元しようとする努力ができる。</li> <li>○京都の自然、歴史、伝統・文化について自らの理解を深めるとともに、児童生徒の学習を構想し実践できる。</li> <li>○グローバル化に伴う社会変化を認識し、児童生徒のコミュニケーション能力の育成を意識した指導ができる。</li> </ul>

<p>ステージ2 中堅期 (7年～15年)</p>	<p>ステージ3 充実期 (16年～24年)</p>	<p>ステージ4 熟練期(25年～) 学校経営への参画</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動できる。</li> <li>○コンプライアンス意識を有し、教員として模範となる良識ある言動ができる。</li> <li>○他の教職員、児童生徒、保護者等と積極的なコミュニケーションができる。</li> <li>○中堅教員としての資質能力の向上に向けて自己を省察し、積極的に学ぶことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動でき、信頼感がある。</li> <li>○コンプライアンス意識を有し、他の教職員の模範となる良識ある言動ができ、周りからの信頼が厚い。</li> <li>○他の教職員、児童生徒、保護者等と積極的にコミュニケーションができるとともに、他の教職員の活動に関わり、助言・支援できる。</li> <li>○さらなる資質能力の向上に向けて自己を省察し、高い意欲を持って積極的に研鑽に励み、教育実践の充実・深化につなげることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動でき、信頼関係が確立されている。</li> <li>○コンプライアンス意識を有し、他の教職員の模範となる良識ある言動ができ、他の教職員に指導・助言できる。</li> <li>○他の教職員、児童生徒、保護者等と積極的にコミュニケーションができるとともに、他の教職員の活動に関わり、指導・助言できる。</li> <li>○不断に自己を省察し、研鑽に励むとともに、自らの資質能力の向上を学校全体の教育実践の充実へつなげることができる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○人権尊重の精神に基づいて率先して行動できる。</li> <li>○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項を理解し、的確に実践できる。</li> <li>○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援ができる。</li> <li>○特別な配慮を必要とする児童生徒を含むユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業に取り組むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人権尊重の精神に基づいて率先して行動し、他の教職員に助言・支援できる。</li> <li>○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項への理解を深め、主体的かつ積極的に推進できる。</li> <li>○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた的確な支援ができる。</li> <li>○特別な配慮を必要とする児童生徒を含むユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業について、他の教職員に助言・支援できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人権教育を推進する牽引役として、校内体制を整え、取組を企画・指導できる。</li> <li>○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援について、校内体制を構築できる。</li> <li>○特別な配慮を必要とする児童生徒への支援に必要な校内体制を構築するとともに、個別事例の的確な状況把握と教職員への指導ができる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習指導要領等に基づき、内容の系統性も踏まえて効果的な授業を展開できる。</li> <li>○各教科等の指導において、主体的・対話的で深い学びの充実に向けて、ICT活用も含め、授業改善や教材研究に取り組むことができる。</li> <li>○学習過程や成果に対する的確な評価や評定を行い、授業改善に生かすことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習指導要領等に基づき、内容の系統性も踏まえて効果的な授業を展開できるとともに、他の教職員に助言・支援できる。</li> <li>○各教科等の指導において、主体的・対話的で深い学びの充実に向けて、ICT活用も含め、授業改善や教材研究に取り組み、他の教職員に助言・支援できる。</li> <li>○学習過程や成果に対する的確な評価や評定と、それを生かした授業改善について、他の教職員に助言・支援できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育課程の編成を指導し、効果的な授業を展開するための校内全体の調整や進捗管理が的確にできる。</li> <li>○主体的・対話的で深い学びの充実に向けて、授業改善や教材研究を学校全体の取組として推進できる。</li> <li>○的確な評価や評定とそれを生かした授業改善について、学校全体の取組として推進できる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童生徒一人一人の個性や人間関係を踏まえた個別指導と集団指導を的確にできる。</li> <li>○深い児童生徒理解をもとに、受容的・共感的に児童生徒と関わることができる。</li> <li>○児童生徒の変化に気づき、課題の解決に向けて他の教職員と協力して積極的に対応できる。</li> <li>○担任として児童生徒一人一人が尊重された学級経営を推進するとともに、学年の実態を把握し、組織的に協働して取組を進めることができる。</li> <li>○キャリア教育の視点を生かした的確な教育活動ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童生徒一人一人の個性や人間関係を踏まえた個別指導と集団指導について、他の教職員に助言・支援できる。</li> <li>○深い児童生徒理解をもとに、受容的・共感的に児童生徒と関わり、自己肯定感を涵養できる。</li> <li>○児童生徒の課題の解決に向けて、学校や学年の実態を踏まえながら対応でき、他の教職員に助言・支援できる。</li> <li>○キャリア教育の視点を生かした的確な教育活動について、他の教職員に助言・支援できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童生徒一人一人の個性や人間関係を踏まえた個別指導と集団指導について、他の教職員に指導・助言できる。</li> <li>○児童生徒への深い理解と受容的・共感的な指導方法について、他の教職員に指導・助言できる。</li> <li>○児童生徒の課題の解決に向けて、学校や学年の実態を踏まえながら対応でき、他の教職員に指導・助言できる。</li> <li>○キャリア教育の視点を生かした的確な教育活動について、他の教職員に指導・助言できる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○校務分掌組織の中心となって自己の役割を果たすことで、学校運営に的確に参画できる。</li> <li>○効率的な業務の遂行に向け、前例にとらわれることなく業務改善を図ることができる。</li> <li>○カリキュラム・マネジメントの視点をもち、その推進に取り組むことができる。</li> <li>○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルを的確に運用するなど、組織的かつ迅速に取り組むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校務分掌組織のリーダーとして、他の教職員の支援や他の分掌組織との連携など、学校運営に中心的役割を果たすことができる。</li> <li>○効率的な業務の遂行に向け、前例にとらわれることなく業務改善を積極的に提案できる。</li> <li>○カリキュラム・マネジメントの視点をもち、その推進に中心的役割を果たすことができる。</li> <li>○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルを的確に運用しつつ、その改善を提案するなど、必要な取組を提案し、率先して組織的かつ迅速に取り組むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校内のリーダーとしての自覚を持ち、教育の動向を把握し、教育目標の実現に向け、学校運営に指導的役割を果たすことができる。</li> <li>○効率的な業務の遂行に向け、学校全体の視点から業務改善を図ることができる。</li> <li>○カリキュラム・マネジメントの推進に指導的役割を果たすことができる。</li> <li>○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルの的確な運用について周囲に指導・助言しつつ、中心となって組織的かつ迅速に取り組むことができる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○校務分掌組織の中心として、他の教職員と連携・協働して業務を遂行できる。</li> <li>○保護者や地域社会の状況を把握し、連携しながら、教育活動に反映できる。</li> <li>○専門家や関係機関、他校の教職員と連携しながら、課題解決に向けた取組ができる。</li> <li>○管理職や先輩教職員からの指導・助言を受け、同僚と切磋琢磨しながら自己の資質能力の向上に向け積極的に取り組み、後輩教職員に的確に助言できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校務分掌組織のリーダーとして、他の教職員と連携・協働して、的確に業務を遂行できる。</li> <li>○保護者や地域社会、専門家や関係機関、他校の教職員と連携・協働し、教育目標の実現に向けて業務を遂行できる。</li> <li>○他の教職員から相談を受けたり、助言・支援したりしながら、人材育成に積極的に関わることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校内のリーダーとして、他の教職員を支援しながら学校全体の連携・協働の要となり、的確に業務を遂行できる。</li> <li>○保護者や地域社会、専門家や関係機関、他校の教職員と連携・協働し、教育目標の実現に向けて中心となって業務を遂行できる。</li> <li>○他の教職員から相談を受けたり、指導・助言したりしながら、校内の人材育成に中心的役割を果たすことができる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、教育活動に還元できる。</li> <li>○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための効果的な学習を構想し実践できる。</li> <li>○グローバル化に伴う社会変化を認識し、児童生徒のコミュニケーション能力を育成するための効果的な指導ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、豊かな教育活動が展開できる。</li> <li>○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための効果的な学習について、他の教職員に助言・支援できる。</li> <li>○グローバル化に伴う社会変化を認識し、児童生徒のコミュニケーション能力を育成するための効果的な指導について、他の教職員に助言・支援できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○社会情勢の動きの中で教育を捉え、広い視野と教養を持って、京都府教育振興プランの実現に向けて校内体制を構築できる。</li> <li>○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための校内体制を構築できる。</li> <li>○グローバル化を見据え、児童生徒のコミュニケーション能力を育成するための校内体制を構築できる。</li> </ul>

「京都府教員等の資質能力の向上に関する指標」との対応一覧

本表は基本研修を除く各研修講座が「京都府教員等の資質能力の向上に関する指標」における観点、ステージにそれぞれどのように対応しているかを示しています。

- ・それぞれの講座において主とする観点により整理しています。
- ・主として対応するステージを示していますので、経験が浅い、早いステージにおいては、各観  
点の資質能力をバランスよく身に付けるために、一定の経験を積んだ段階においては、興味・関  
心や勤務校で求められる内容などに対応するために受講することも可能です。
- ・各講座の受講対象の詳細については「研修講座一覧」ページ、「研修講座の実施概要」ページ  
を御覧ください。

- ◎ ……主として対応するステージ
- ……受講することが可能なステージ

観点	講座番号・講座名	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ4	備考
基本的 資質能力	601 コミュニケーション基礎講座～ビジネスマナーから考える～(企業連携)	◎	○	○	○	
	807 CS発想から考えるビジネスマナー講座(企業連携)	◎	○	○	○	
	522 教職員のメンタルヘルス講座～ストレスマネジメント-QOLを高める技を学ぶ～	○	◎	○	○	
	602 コミュニケーション講座Ⅰ～職場実践に生かす～(企業連携)	○	◎	○	○	
	603 コミュニケーション講座Ⅱ～職場実践に生かす～(企業連携)	○	◎	○	○	
	851 メンタリング入門研修講座(奈良県連携)	○	◎	○	○	
	801 校長講座				◎	
	802 副校長・教頭・事務長講座				◎	
	811 府立学校副校長講座シリーズⅠ				◎	
	812 府立学校副校長講座シリーズⅡ				◎	
	813 新任管理職「ハラスメント防止」講座《Web》				◎	
人権	526 特別支援教育「知的障害のある児童生徒の授業づくり」講座	◎	○	○	○	
	531 特別支援教育「聴覚障害のある児童生徒の授業づくり」講座	◎	○	○	○	
	532 特別支援教育「病弱児童生徒への指導・支援」講座	◎	○	○	○	
	502 人権教育講座Ⅰ～多様な性に対する理解～	○	◎	○	○	
	503 人権教育講座Ⅱ～同和問題を考える～	○	◎	○	○	
	523 特別支援教育「児童生徒の気になる行動、その理解と対応」講座	○	◎	○	○	
	524 特別支援教育「読み書きに困難のある児童生徒への指導・支援」講座	○	◎	○	○	
	527 特別支援教育・京都府スーパーサポートセンター連携「基礎から学ぶ特別支援学級・通級による指導」講座(センター)	○	◎	○	○	
	528 特別支援教育・京都府スーパーサポートセンター連携「基礎から学ぶ特別支援学級・通級による指導」講座(北部)	○	◎	○	○	
	529 特別支援教育・京都教育大学サテライト「思春期・青年期における発達障害の特性理解」講座	○	◎	○	○	
	530 特別支援教育コーディネーター養成講座Ⅱ(実践)	○	◎	○	○	
	533 特別支援教育コーディネーター養成講座Ⅰ(基礎)《Web》	○	◎	○	○	
	852 スクールソーシャルワーク講座～専門機関とのつながりから連携の構築へ～	○	◎	○	○	
	525 特別支援教育「アセスメントを支援に生かす」講座(コーディネータースキルアップ講座)	○	○	◎	○	

# 京都府総合教育センター

- ◎ ……主として対応するステージ  
○ ……受講することが可能なステージ

観点	講座番号・講座名	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ4	備考
学習指導	415 小学校実技どんとこい！音楽科&図画工作科講座～器楽&絵～	◎	○	○	○	
	416 小学校実技どんとこい！理科&家庭科講座	◎	○	○	○	
	417 小学校音楽科&図画工作科やってみよう！ICT講座	◎	○	○	○	
	420 和楽器実技「一本の弦から奏でる箏の基礎～創作～」講座	◎	○	○	○	
	429 <知っ得！内容A>中学校技術講座	◎	○	○	○	
	430 中高家庭科講座～介護の基礎を学ぶ～	◎	○	○	○	
	431 中高家庭科ICT講座～使ってみよう！CADソフトウェア～	◎	○	○	○	
	435 道徳科の授業実践力向上講座	◎	○	○	○	専門領域と重複
	438 初任期から中堅期へのジャンプアップ講座(センター)～6年目教員指導力向上講座～	◎				
	439 初任期から中堅期へのジャンプアップ講座(北部)～6年目教員指導力向上講座～	◎				
	305 算数科・数学科授業づくりシリーズ講座	○	◎			
	401 京都府学力診断テスト(小学校4年国語・中学校1年国語)活用講座(センター)	○	◎	○	○	
	402 京都府学力診断テスト(小学校4年算数・中学校1年数学)活用講座(センター)	○	◎	○	○	
	403 京都府学力診断テスト(小学校4年国語・中学校1年国語)活用講座(北部)	○	◎	○	○	
	404 京都府学力診断テスト(小学校4年算数・中学校1年数学)活用講座(北部)	○	◎	○	○	
	405 京都府学力診断テスト(中学校2年)活用講座(センター)	○	◎	○	○	
	406 京都府学力診断テスト(中学校2年)活用講座(北部)	○	◎	○	○	
	407 育ちと学びをつなぐ幼児教育&生活科講座Ⅰ	○	◎	○	○	
	408 育ちと学びをつなぐ幼児教育&生活科講座Ⅱ	○	◎	○	○	
	409 小学校国語科教育講座	○	◎	○	○	
	410 小学校社会科教育講座	○	◎	○	○	
	411 小学校理科の授業づくり講座～物理・化学編～	○	◎	○	○	
	412 小学校家庭科講座～家庭生活と身近な環境～	○	◎	○	○	
	413 「指導と評価の一体化」を目指す小中外国語科教育講座Ⅰ～小中の評価の在り方～	○	◎	○	○	
	414 「指導と評価の一体化」を目指す小中外国語科教育講座Ⅱ～教科書を活用した指導方法の工夫～	○	◎	○	○	
	418 小中9年間で数学的な見方・考え方を育てる授業づくり講座	○	◎	○	○	
	419 小中をつなぐ理科の見方・考え方講座(Web+)	○	◎	○	○	
	421 感性と思考をつなぐ音楽科の指導と評価講座～STEAM教育にも触れながら～	○	◎	○	○	
	423 中学校・高等学校国語科教育講座～探究的・課題解決型単元構想～	○	◎	○	○	
	424 社会科・地理歴史科・公民科教育講座	○	◎	○	○	
	425 中高をつなぐ理科の指導と評価講座	○	◎	○	○	
	427 中高美術講座～社会とつながる芸術～	○	◎	○	○	
	428 幼小特支「子どもに寄り添う図画工作科の授業」講座	○	◎	○	○	
	432 「指導と評価の一体化」を目指す中高外国語科教育講座Ⅰ～授業改善を目指す～	○	◎	○	○	
	433 「指導と評価の一体化」を目指す中高外国語科教育講座Ⅱ～CAN-DORISTの活用を目指す～	○	◎	○	○	
	434 「指導と評価の一体化」を目指す中高外国語科教育講座Ⅲ～評価の改善を考える～	○	◎	○	○	
	437 明日の授業を考える高校教育講座～主体的な学びを育む学校づくり～	○	◎	○	○	専門領域と重複
	501 総合的な学習の時間・総合的な探究の時間講座	○	◎	○	○	専門領域と重複
	508 情報教育講座	○	◎	○	○	専門領域と重複
	509 小学校プログラミング教育講座	○	◎	○	○	
	510 中学校・高等学校プログラミング教育講座	○	◎	○	○	
	511 高等学校「情報Ⅰ」講座	○	◎	○	○	
515 図書館教育講座～調べ学習を支援する学習センターとしての在り方～	○	◎	○	○	専門領域と重複	
710 最新教育動向講座Ⅰ	○	◎	○	○		
426 最先端科学から学ぶ講座	○	○	◎	○		

# 京都府総合教育センター

- ◎ ……主として対応するステージ  
○ ……受講することが可能なステージ

観点	講座番号・講座名	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ4	備考
生徒指導	422 子どもの心の土台づくり講座	○	◎	○	○	専門領域と重複
	504 生徒指導講座～生徒指導の機能を生かした学級づくり～	○	◎	○	○	専門領域と重複
	505 特別活動講座	○	◎	○	○	専門領域と重複
	506 キャリア教育講座～学校で学ぶことと社会との接続を考える～	○	◎	○	○	専門領域と重複
	507 情報モラル教育講座	○	◎	○	○	専門領域と重複
	516 教育相談<初級>講座～児童生徒理解と関わり～【領域①②③】	○	◎	○	○	専門領域と重複
	517 教育相談<中級>講座Ⅰ～事例を通して深める子どもの理解～【領域①】	○	◎	○	○	専門領域と重複
	518 教育相談<中級>講座Ⅱ～ひきこもる心を考える～【領域②】	○	◎	○	○	専門領域と重複
	521 「今を生きる子どものころ」講座～SNS相談からみた思春期・青年期～	○	◎	○	○	専門領域と重複
	605 子どもの力を引き出す教育コーチング講座(企業連携)	○	◎	○	○	専門領域と重複
	519 教育相談<上級>講座Ⅰ～子どもと保護者のところに寄り添う～【領域①】	○	○	◎	○	専門領域と重複
	520 教育相談<上級>講座Ⅲ～「聴く」ということ～【領域③】	○	○	◎	○	専門領域と重複
専門領域 養護教諭としての 専門領域 ・ 栄養教諭としての 専門領域	435 道徳科の授業実践力向上講座	◎	○	○	○	
	422 子どもの心の土台づくり講座	○	◎	○	○	
	437 明日の授業を考える高校教育講座～主体的な学びを育む学校づくり～	○	◎	○	○	
	501 総合的な学習の時間・総合的な探究の時間講座	○	◎	○	○	
	504 生徒指導講座～生徒指導の機能を生かした学級づくり～	○	◎	○	○	
	505 特別活動講座	○	◎	○	○	
	506 キャリア教育講座～学校で学ぶことと社会との接続を考える～	○	◎	○	○	
	507 情報モラル教育講座	○	◎	○	○	
	508 情報教育講座	○	◎	○	○	
	515 図書館教育講座～調べ学習を支援する学習センターとしての在り方～	○	◎	○	○	
	516 教育相談<初級>講座～児童生徒理解と関わり～【領域①②③】	○	◎	○	○	
	517 教育相談<中級>講座Ⅰ～事例を通して深める子どもの理解～【領域①】	○	◎	○	○	
	518 教育相談<中級>講座Ⅱ～ひきこもる心を考える～【領域②】	○	◎	○	○	
	521 「今を生きる子どものころ」講座～SNS相談からみた思春期・青年期～	○	◎	○	○	
	605 子どもの力を引き出す教育コーチング講座(企業連携)	○	◎	○	○	
	804 養護教諭講座	○	◎	○	○	養護教諭のみ
	805 栄養教諭・学校栄養職員講座	○	◎	○	○	栄養教諭のみ
519 教育相談<上級>講座Ⅰ～子どもと保護者のところに寄り添う～【領域①】	○	○	◎	○		
520 教育相談<上級>講座Ⅲ～「聴く」ということ～【領域③】	○	○	◎	○		

# 京都府総合教育センター

- ◎ ……主として対応するステージ  
○ ……受講することが可能なステージ

観点	講座番号・講座名	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ4	備考
マネジメント	436 道徳教育の推進講座	○	◎	○	○	
	705 企業から学ぶマネジメント講座～経営哲学から学ぶ～(企業連携)	○	◎	○	○	
	706 多忙化への対応とセルフマネジメント講座(企業連携)	○	◎	○	○	
	707 ワーク・ライフ・マネジメント講座(企業連携)	○	◎	○	○	
	708 学びづくりのカリキュラム・マネジメント講座	○	◎	○	○	
	814 新任教務主任(部長)講座	○	◎	○	○	
	301 学校組織運営特別講座シリーズ I		○	◎	○	
	702 教育法規演習講座～判例に学ぶ信頼ある学校づくり～	○	○	◎	○	
	709 学校運営のためのカリキュラム・マネジメント講座	○	○	◎	○	
	701 危機管理講座		○	○	◎	
	711 最新教育動向講座Ⅱ			○	◎	
	803 管理職「特別支援教育・メンタルヘルス」講座				◎	
チーム学校	321 チーム学校講座シリーズⅠ～教員と事務職員の協働～		◎	○	○	
	322 チーム学校講座シリーズⅡ～教員と事務職員の協働～		◎	○	○	
	323 チーム学校講座シリーズⅢ～教員と事務職員の協働～		◎	○	○	
	604 コミュニケーション発展講座～人材育成に生かす～(企業連携)		○	◎	○	
	606 学校運営に生かすコーチング講座(企業連携)		○	◎	○	
	703 学校内外環境分析講座～学校の強みを生かした特色づくり～		○	◎	○	
	704 地域の教育活性化とスクールリーダー講座		○	◎	○	
京都ならではの教育	513 京の教育「ふるさと」講座Ⅰ～山城郷土資料館で学ぶ～	○	◎	○	○	
	514 京の教育「ふるさと」講座Ⅱ～丹後郷土資料館で学ぶ～	○	◎	○	○	
	512 京の教育「みやび」講座	○	○	◎	○	

単位制履修制度早分かり表（教諭の例）

必修		年期	年	選択
初任者研修	20単位	初任期育成	1	5単位
2年目教員 ステップアップ研修	8単位		2	
京都府の教育公務員として 基盤となる基本事項		2～6年目	3	
			4	
			5	
			6	
中堅教諭等資質向上研修	5単位	7～15年目	7	9単位
			8	
			9	
			10	
			11	
◇教職への使命感と職責への 自覚の向上 ◇教育をめぐる現状と今日の 課題を知り、問題解決		16年目以降	12	
			13	
			14	
			15	
			16	
			17	
		∴	13単位	
			指導的力 向上に向け、 標準的な単 位	
	33単位			27単位

管理職 主幹教諭・指導教諭等は職能に応じて

教諭の生涯にわたる標準的な単位 60単位

- ・今後の教育を取り巻く環境・状況の変化に伴い、変更する場合があります。
- ・国・京都府教育委員会・教育局・市町（組合）教育委員会実施の研修の一部も単位として認定します。

## 研修講座の実施概要の見方

### 1 記載内容・アイコン・タブについて

#### (1) 記載内容

講座番号	講座名	(2) <b>推薦</b>		<b>発展</b> (4)
開催日時	令和 年 月 日 ( ) : ~ :	講座のねらい	※講座を受講して、身に付けてほしい力量、また、自らの行動変容とともに、組織へ波及してほしい内容を記載しています。	
会場	京都府総合教育センター			
受講対象	教諭、養、栄、寄、実 (幼・小・中・義・高・特支) ※詳細は内容参照	定員	100名	2 5 6
内容	※予定の講師、研修講座の内容を記載しています。 受講対象の注意事項を記載している場合があります。		※講座の様子や講師の写真等を掲載しています。 開催時間についての注意を記載している場合があります。	7 5 15 (5)
連絡先	※問い合わせ・連絡先を記載しています。		(3) 主な指標の観点	基本的 資質能力

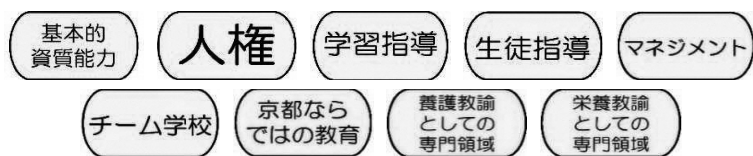
#### (2) 受講制限を表すアイコン

**推薦** … 教育局長、府立学校長の推薦を受けた者が受講可能な講座

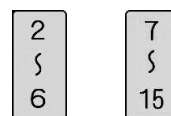
#### (4) グレードを表すタブ



#### (3) 主な指標の観点を表すアイコン



#### (5) 各年期(ステージ)の選択講座として該当する年期を表すタブ



### 2 受講対象の略記について

#### (1) 表記の順序

**【対象限定※1】 職種※2 (校種※3) <地域等の指定※4>**

#### (2) 略記の対応表

※1 基本研修	略記
初任者研修 (小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・特別支援学校で初任者研修対象教諭)	【初任者】
新規採用者研修 (令和3年度に採用された幼稚園教諭・養護教諭・栄養教諭 等)	【新採】
上記の初任者研修と新規採用者研修を合同実施	【初・新】
2年目教員ステップアップ研修 (令和3年度該当者)	【2年目】
中堅教諭等資質向上研修 (令和3年度該当者)	【中堅教諭等】

※2 職種	略記
全ての職種を対象	全教職員
副校長・教頭	副・頭
総括主事	総
養護教諭	養
栄養教諭・学校栄養職員	栄
学校図書館司書	司
事務職員	事
府立学校技術職員	技
学校施設管理職員	施
寄宿舎指導員	寄
技術職員 (船舶乗組員)	船
実習教諭・実習助手	実

※副校長は首席副校長、副園長を含みます。  
※教諭(〇〇担当教諭)と表記している場合は、主幹教諭、指導教諭、教諭を全て含みます。

※3 校種	略記
幼稚園	幼
小学校	小
中学校	中
義務教育学校	義
義務教育学校前期課程	義前
義務教育学校後期課程	義後
高等学校	高
特別支援学校	特支

※校種の前に複数の職種を表記している場合は、全ての職種が( )内の校種に該当します。

※4 地域等の指定	略記
南部地域の学校	南
北部地域の学校	北

※乙訓・山城・南丹教育局管内の小・中・義務教育学校は南部地域の学校、中丹・丹後教育局管内の小・中学校は北部地域の学校です。府立学校の詳細については、事前の講座で連絡します。

各頁に記載している研修講座の内容等は予定です。確定した内容等は「実施要項」として、講座実施日の前月15日に京都府総合教育センターホームページ (ITEC) に掲載しますので、必ず確認してください。



研修履歴一覧表の見方（教諭の例）

在職年数は、採用時の職が他府県経験時の職と同じ場合は、他府県経験年数を加算しています。  
 総単位数は、平成21年度からの取得単位の総計を記載しています。

令和3年3月〇日現在

**参考** **研修履歴一覧表**

職員番号	1234567	所属	〇〇立△△学校	在職年数	10
職名	教諭	氏名	京都 太郎	総単位数	41

研修等履修状況

初任研等	履修	必修	中堅教諭等	履修	必修	選択	標準履修単位数	※	5	標準履修単位数	9
	済	25		済	5	2～6年		7～15年	2		1

※採用年度や職種により異なります。

**センター研修 取得単位詳細**

2～6年	7～15年	研修分野等	研修名	期間	備考	単位	合計
◎		教科	□□□□□□□□□□□□□□講座	H24		1	1単位
			□□□□□□□□□□□□□□講座	H25		1	
	◎	領域等	□□□□□□□□□□□□□□講座	H30		1	2単位
			□□□□□□□□□□□□□□講座	H25		1	
	◎	コミュニケーション能力	□□□□□□□□□□□□□□講座	H29		1	2単位
			□□□□□□□□□□□□□□講座	H27		1	
	◎	チームマネジメント能力	□□□□□□□□□□□□□□講座	H26		1	1単位
	○	法定研修外基本研修 指導者養成研修 特別研修 他	□□□□□□□□□□□□□□講座			1	7単位
5単位	2単位						

**センター研修以外の研修(他研修) 取得単位詳細**

主催	所管	研修名	期間	備考	単位	合計
文部科学省	学校教育課	□□□□□□□□□□□□□□研修	H28	チームマネジメント能力 2～6年目研修	1	2単位
京都府◆◆教育局	京都府◆◆教育局	□□□□□□□□□□□□□□研修	H30	教科 7～15年	1	

---

**センター研修以外の研修(記載のみ)**

主催	所管	研修名	期間	備考

**講師履歴**

主催	研修名	期間	備考
総合教育センター	□□□□□□□□□□□□□□講座	H27	

研修等履修状況について以下の4つの分類で確認できます。

- ・「初任研等」  
…初任者・新規採用者研修
- ・「中堅教諭等」  
…中堅教諭等資質向上研修
- ・「2～6年」  
…2年目教員ステップアップ研修を含む、2～6年目研修
- ・「7～15年」  
…7～15年目研修

※「初任研等」「中堅教諭等」には必要単位数を満たすと「履修」欄に「済」を記載しています。

※「2～6年」「7～15年」の「標準履修単位数」を上欄に記載しています。

※「中堅教諭等」「2～6年」「7～15年」の「選択」欄には「センター研修 取得単位詳細」の「◎」の取得単位数を記載しています。

※「2～6年」「7～15年」の「他研修」欄には「センター研修以外の研修(他研修)取得単位詳細」の単位数を記載しています。

センター研修講座と同様に単位を認定する国、京都府教育委員会（平成22年度から）、教育局主催（平成24年度から）及び市町（組合）教育委員会主催（平成30年度から）の研修について記載しています。

講座講師の履歴を記載しています。  
 （京都府総合教育センター主催の研修のみ）

センター研修以外の国及び京都府教育委員会主催の研修について、研修等履修状況に単位加算しないものを平成22年度実施の研修から記載しています。

研修講座の年ごとの履修状況について記載しています。  
 （注）初任者・新規採用者研修、中堅教諭等資質向上研修、2年目研修（2年目教員ステップアップ研修）の必修講座については記載していません。

年ごとの履歴状況を以下の4つの分類で確認できます。

- ・「2～6年」…2～6年目研修
- ・「7～15年」…7～15年目研修
- ・「中堅教諭等」…中堅教諭等資質向上研修
- ・「16年～等」…16年目以降の研修

※履修した講座について「◎」又は「○」を記載しています。  
 ※該当講座が各年期の選択講座の場合には「◎」を記載しています。  
 ※該当年外の場合は「○」を記載しています。

9